

中国情報通信懇談会は、令和5年11月8日（水）、中国総合通信局及び（一社）中国経済連合会との共催により、「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」の令和5年度第2回の会合として、「データ利活用の取組・事例の共有」を開催しました※。

※ハイブリッド開催：WEB（Zoomウェビナー）・中国総合通信局会議室

当日は、中国地方整備局、広島市及びKDDI（株）から、中国地域の地方公共団体のほか、情報通信懇談会会員等に対してデータ利活用の取組・事例を紹介いただきました。

概要は次のとおりです。

【開会挨拶】中国情報通信懇談会 相原運営委員長

先日の第1回会合で開催した「データ戦略セミナー」では、データの現状や、我が国のデータ活用の動向をお示しいただいた。本日は、データ利活用の事例を多く共有していただくことを目的として企画した。

今後、本ラウンドテーブルの活動成果が有効に展開され、中国地域において官民のデータオープン化の理解がより一層進み、利活用の促進に繋がること祈念している。



【取組・事例①】中国地方整備局 道路部道路計画課 和田課長補佐

「ETC2.0プローブデータの活用事例」と題し、ETC2.0の多様なサービス展開などの概要、ETC2.0で集められたプローブデータの活用事例として、交通事故対策、観光地における交通状況分析等、また、プローブデータの今後についてご紹介いただきました。

【取組・事例②】広島市 企画総務局行政経営部 田尾情報政策課長

「人流データを活用した地域の活性化実証「Hiroshima City Dashboard」」と題し、実証の概要やダッシュボード機能、民地・街路空間を活用した賑わい施策「カミハチキテル3」のデータ活用事例についてご紹介いただきました。

【取組・事例③】KDDI(株) 経営戦略本部データマネジメント部 ビジネス開発グループ 柏木氏

「事例で学ぶ自治体での位置情報活用について」と題し、自治体で位置情報活用が進む背景や活用の現状と、実際に位置情報システムを導入した自治体の活用事例やシステムの分析機能等をご紹介いただきました。

【閉会挨拶】(一社)中国経済連合会 清地常務理事

本日ご紹介いただいた事例を参考に、自身で何ができるのかを考え、地域をよりよくするために情報共有しながら更に前に進んでいきたい。

